

大きな自由度を持つ分子系における導電性の 可逆的・非可逆的变化

松下未知雄 (名古屋大学)

有機導電体には、分子構造・配座、分子配列、カウンターイオンや包接溶媒など、電気伝導性に影響を与える多くの因子がある。逆に、これらの自由度を用いることで、外場によりその導電性が大きく変化する系を構築することが可能である。薄膜、単結晶、ポリマー膜において、可逆的・非可逆的に導電性の制御を試みた例を紹介する。